

展示室 1 草花を愛でる II

この部屋では、19 世紀イギリスにおいて描かれた草花に焦点を当てます。都市化の進展や消費社会の到来は人と自然との関わりを大きく変容させました。家庭ではガーデニングや小規模な庭園づくりが流行したほか、世界各地から多様な植物が商品としてもたらされ、日常生活は華やかに彩られました。

1837 年から 1901 年までのヴィクトリア朝時代は「小説の時代」とも呼ばれ、文学の隆盛とともに草花は物語や詩に豊かな象徴性をもって描かれます。イギリス国内で花言葉が大流行したのもこの時代で、花それぞれに意味が託され、恋心や苦悩、悲しみなど人々の感情を表す手段となりました。こうした草花を取り巻く文化的表象は、同時代の美術にどのような影響を与えたのでしょうか。

作者名	作品名	制作年	技法・材質	
サミュエル・パーマー	生命の朝	1860-1 着手	エッチング・紙	ローダーコレクション
サミュエル・パーマー	昇る月（イングランドの田園詩）	1857	エッチング・紙	ローダーコレクション
サミュエル・パーマー	ひばり	1850	エッチング・紙	ローダーコレクション
サミュエル・パーマー	牧夫の小屋（日没）	1850	エッチング・紙	ローダーコレクション
ディエル兄弟（刻）	J. モンゴメリ『詩集』挿絵		木口木版・紙	ローダーコレクション
ディエル兄弟（刻）	岩の多い海岸と荒海に浮かぶ船		木口木版・紙	ローダーコレクション
ディエル兄弟（刻）	頭文字を木に刻む羊飼いのいる風景		木口木版・紙	ローダーコレクション
ディエル兄弟（刻）	釣りをする子供のいる風景		木口木版・紙	ローダーコレクション
ディエル兄弟（刻）	W. ワーズワース『詩集』	1859	木口木版・紙／本	ローダーコレクション
ディエル兄弟（刻）	『イギリス風景画集』	1863	木口木版・紙／本	ローダーコレクション
サー・エドワード・コリー・パーソンズ	『フラワー・ブック』より全 38 点	1905	リトグラフ・紙／ポートフォリオ（38 点組）	
サー・エドワード・コリー・パーソンズ	フローラ	1868-84	油彩・キャンバス	
サー・フランク・ブランギン	花園	1899 頃	油彩・板	
アルバート・ジョゼフ・ムーア	黄色いマーガレット	1881	油彩・キャンバス	
ウォルター・クレイン	『夏の女王 あるいは百合と薔薇の騎馬試合』	1891	リトグラフ・紙	個人蔵（特別出品）
ジョン・コンスタブル	デダムの谷	1802	油彩・紙、キャンバス	
サー・ジョシュア・レイノルズ	エグリントン伯爵夫人、ジェーンの肖像	1777	油彩・キャンバス	
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	カンバーランド州のコールダー・ブリッジ	1810	油彩・キャンバス	

展示室 2 山本二三が敬愛した画家 一大下藤次郎と『みづゑ』

明治時代の水彩画家大下藤次郎は、水彩画の普及にも努め、1901 年に技法書『水彩画の栞』、1904 年に『水彩画階梯』を刊行しました。『水彩画の栞』がベストセラーになり水彩画ブームが沸き起こりましたが、より詳しい指南書の必要性を感じ、1905 年に月刊誌『みづゑ』を創刊します。『みづゑ』には、水彩画の本場である英国の画家の紹介、道具や技法の手引き、展覧会評などが掲載され、のちに水彩画の枠を超えて広く美術を扱う雑誌に成長していきます。『みづゑ』が伝えた技術と精神は広く日本に根付き、世界に誇るアニメーション美術が生まれる土壌をも築きました。

この展示では、大下藤次郎とともに『みづゑ』を盛り立てた仲間たちの作品、彼らが憧れた英国の水彩画をご覧ください。

作者名	作品名	制作年	技法・材質	
ポール・サンドビー	ウォーリック城シーザー塔	1778-82	水彩、インク・紙	
トマス・ガーティン	エクセター大聖堂	1798 頃	水彩・紙	
ジョン・ヴァーレー	ポントシスリット・アクアダクト	1826	水彩・紙	
ピーター・デ・ウィント	ウィットビー		水彩・紙	
ディヴィッド・コックス	川辺の騎手と人物	1850	水彩、鉛筆、チョーク・紙	
ジョン・セル・コットマン	ルーアン、ラ・ビュセル広場のブルトルルド館	1823	水彩・紙	
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	海と空の習作	1825 頃	メゾチント・紙	ローダーコレクション
ジョン・コンスタブル	ヤーマス、ノーフォーク	1832	メゾチント、手彩色・紙	ローダーコレクション
ジョン・コンスタブル	『イングランドの風景』より ノーフォーク、ヤーマス	1830-32	メゾチント、手彩色・紙	ローダーコレクション

作者名	作品名	制作年	技法・材質	
アルフレッド・ウィリアム・パーソンズ	鎌倉の茶店		グワッシュ・紙	
サー・アルフレッド・イースト	クールマイヨール風景	1885-1905 頃	水彩・紙	
サー・アルフレッド・イースト	雨の湯本	1889	水彩・紙	
大下 藤次郎	赤城駒ヶ岳の紅葉	1907(明治 40)	水彩・紙	
大下 藤次郎	晩秋	1908(明治 41)	水彩・紙	
大下 藤次郎	舟のある風景	1906(明治 39)	水彩・紙	
真野 紀太郎	ウェリントン植物園	1924(大正 13)	水彩・紙	
三宅 克己	渋谷村天現寺附近の茶店	1893(明治 26)	水彩・紙	
三宅 克己	箱根		水彩・紙	
石川 欽一郎	牛荘（ニューチョワン）		水彩・紙	
丸山 晚霞	霜晴れの高原		水彩・紙	
丸山 晚霞	少女のいる風景、春		水彩・紙	
吉田 博	山村風景	1896(明治 29)	水彩・紙	
吉田 博	檜原下川のつなさんの馬	1908(明治 41)	水彩・紙	
中川 八郎	薄暮の街		水彩、コンテ・紙	
南 薫造	橋のある河		水彩・紙	
河合 新蔵	武州五日市の雪景		水彩・紙	
森田 恒友	田園風景	1906(明治 39) 頃	水彩・紙	
水野 以文	水辺の風景		水彩・紙	
石井 柏亭	江村（中川奥戸）	1936(昭和 11)	水彩・紙	※原寸大複製パネル
石井 柏亭	洋画実技講座	1937(昭和 12)	本	
大下 藤次郎	『瀬戸内写生旅行』より松のある海辺	1911(明治 44) 頃	鉛筆、水彩・紙／画帖	
	『みづゑ』第 1、第 4、第 5、第 8、第 81、第 900	より一部抜粋		
アルフレッド・パーソンズ	Notes in Japan	1896	本	

展示室 3 没後 80 年 木彫家・三木宗策

三木宗策は郡山市本町で表具師を営んでいた父・宗次郎のもとに生まれ、1906（明治 39）年上京して、高村光雲の高弟だった山本瑞雲に入門しました。1916（大正 5）年第 10 回文展に初入選、以降官展に出品を続け、のち審査員もつとめるなど活躍、日本木彫会や正統木彫家協会結成に参加するなど、近代の木彫界を担うひとりとして期待されました。

1945（昭和 20）年 11 月 28 日疎開中に郷里・郡山で歿したとき、54 歳という早過ぎる悲報に大きな落胆と喪失感が広がったと伝わります。11 月 30 日善導寺での告別式のあと、12 月には都内の自宅でも葬儀がおこなわれました。

没後 80 年を迎え、近年寄贈いただいた作品などを中心にご紹介します。

作者名	作品名	制作年	技法・材質	
三木 宗策	丹花綻ぶ	1936(昭和 11)	木彫、彩色	高橋周子氏寄贈
三木 宗策	丹花綻ぶ（石膏原型）	1936(昭和 11)	石膏	三木康生氏寄贈
三木 宗策	大葉子	1942(昭和 17)	木彫、彩色	萩原巖氏寄贈
三木 宗策	威容抱慈（坂上田村麻呂像）	1924(大正 13)	木彫	
三木 宗策	傷つきたる鳥人	1941(昭和 16)	木彫	三木康生氏寄贈
三木 宗策	萬葉相華（習作）	1940(昭和 15) 頃	木彫、彩色	國分昭代氏寄贈
三木 宗策	裸婦像		木彫	國分昭代氏寄贈
三木 宗策	聖観音木像	1912(明治 45)	木彫	寄託作品
三木 宗策	浅香山の采女		木彫、彩色	寄託作品
三木 宗策	閑日	1916(大正 5) 頃	木彫、彩色	伊藤和氏所蔵（特別出品）
三木 宗策	春	1929(昭和 4) 頃	木彫、彩色	山口紀夫氏寄贈
三木 宗策	萬歳楽	1943(昭和 18)	木彫、彩色	渡辺真氏寄贈
三木 宗策	兎	1937(昭和 12)	木彫	渡辺真氏寄贈
三木 宗策	羊	1931(昭和 6)	ブロンズ	渡辺真氏寄贈

展示室 4-① 光と闇のあいり ―日本の戦後版画

第二次世界大戦が終結すると、美術家たちは活動を再開し、国内美術界は活気づきます。版画は飛躍的な展開を遂げ、海外で受賞を重ねる作家が現れるなど、高く評価されました。この一室では、光と闇の表現が探求された戦後の版画作品を取り上げます。

浜田知明は社会や人間を鋭くユーモラスに表し、駒井哲郎は詩情あふれる幻想的世界を刻みます。二人の版画家を中心に、モノクロームを基調として深淵と向き合う秀島由己男、カラー・メゾチントを切り拓いた浜口陽三を交えて展示いたします。

彼らの作品には、あたかも当時の社会を映し出す鏡のように、光から闇へ、闇から光へと交錯する多様なイメージが認められます。光と闇のあいりに現れる版画の世界をご覧ください。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
浜田 知明	首	1951(昭和 26)	エッチング、アクアチント・紙
浜田 知明	初年兵哀歌（山を行く砲兵隊）	1953(昭和 28)	エッチング、アクアチント・紙
浜田 知明	一隅	1956(昭和 31)	エッチング、アクアチント・紙
浜田 知明	女	1960(昭和 35)	エッチング、アクアチント・紙
浜田 知明	『見える人・浜田知明版画集』より	1975(昭和 50)	エッチング・紙／ポートフォリオ
	1 孤独なやつ		
	2 顔		
	3 情報過多の人間		
	4 男		
	5 顔		
	7 顔		
秀島 由己男	『静物考』より	1985(昭和 60)	メゾチント・紙／ポートフォリオ
	Paper Balloon		
	Cabbage		
	Winter Cherry		
	Shell		
駒井 哲郎	悪僧	1950(昭和 25)	アクアチント・紙
駒井 哲郎	果実の受胎	1959(昭和 34)	アクアチント、エッチング、ドライポイント・紙
駒井 哲郎	審判	1962(昭和 37)	エッチング、リフトグラウンド・エッチング、アクアチント・紙
駒井 哲郎	詩画集『人それと呼んで反歌という』より		
	PL.6「年齢について」の別刷	1966(昭和 41)	エッチング、ドライポイント・紙
駒井 哲郎	白い黒ン坊	1950(昭和 25)	アクアチント、ドライポイント・紙
駒井 哲郎	調理場（La Cuisine）	1958(昭和 33)	エッチング、アクアチント・紙
駒井 哲郎	13	1959(昭和 34)	エッチング、アクアチント、エングレーヴィング・紙
駒井 哲郎	鳥と果実（小）	1959(昭和 34)	エッチング、アクアチント、サンドペーパーによるエッチング・紙
駒井 哲郎	飛んでいる鳥と木の葉	1961(昭和 36)	サンドペーパーによるエッチング、エッチング・紙
駒井 哲郎	鏡	1962(昭和 37)	エッチング、リフトグラウンド・エッチング、アクアチント、エングレーヴィング・紙
浜口 陽三	ぶどうとナイフ	1959(昭和 34)	メゾチント・紙
浜口 陽三	西瓜	1981(昭和 56)	メゾチント・紙

追悼展示

岩谷 徹	夏の思い出	1976(昭和 51)	メゾチント・紙
岩谷 徹	赤い魚（大）	1976(昭和 51)	メゾチント・紙
岩谷 徹	五月の緑	1984(昭和 58)	メゾチント・紙
岩谷 徹	落日―森	1985(昭和 60)	メゾチント・紙

展示室4-② 工芸のモダニズム

イギリス人のクリストファー・ドレッサー（1834—1904）は、植物を中心とした有機的なイメージを大胆に抽象化し、20世紀デザインに先駆けるような単純で幾何学的な形態の金属器やガラス器などを数多く生み出しています。ドレッサーは日本の工芸品などに影響をうけつつ、工業製品のための斬新なデザインを次々と手がけ、イギリスのデザイン界を牽引しました。日本の工芸界では、昭和初期頃に浜田庄司らを中心に、工人を称揚し「用の美」をうたった民芸運動が起こりました。郡山市出身の佐藤潤四郎は、民芸の思想に共鳴しながら、ガラス工芸の新分野の開拓を意欲的に行っています。佐藤は素材の特性や用途としての機能性に重きをおきつつ、独自のデザインを生み出しています。

作者名	作品名	制作年	技法・材質	
クリストファー・ドレッサー	クラレットジャグ（ぶどう酒用容器）		ガラス、金属、電気メッキ	
クリストファー・ドレッサー	クラレットジャグ、黒檀把手（ぶどう酒用容器）		ガラス、金属、電気メッキ、黒檀把手	
クリストファー・ドレッサー	スプーン・ウォーマー		金属、電気メッキ、黒檀把手	
クリストファー・ドレッサー	蓋つきスプーン入れ		金属、電気メッキ、黒檀把手	
クリストファー・ドレッサー	トースト・ラック（ポイントアーチ型）	1879	金属、電気メッキ	
クリストファー・ドレッサー	トースト・ラック（青海波）	1879-82 頃	金属、電気メッキ	
クリストファー・ドレッサー	三角型薬味入れセット		ガラス、金属、電気メッキ	
クリストファー・ドレッサー	デカンター・セット（栓付き細首ぶどう酒瓶）		ガラス、金属金具、電気メッキ	
クリストファー・ドレッサー	花瓶（緑色クルーザ・グラス）		ガラス	
クリストファー・ドレッサー	プロペラ瓶（緑色クルーサ・グラス）		ガラス	
佐藤 潤四郎	花器（カットグラス）	1986(昭和 61)	ガラス／型吹・エッチング、カット	
佐藤 潤四郎	灰皿		ガラス／型押し	
佐藤 潤四郎	水指（カットグラス）	1986(昭和 61)	ガラス／型吹き・カット	
佐藤 潤四郎	ウイスキーボトル「インペリアル」		ガラス／機械吹き・カット	サントリー(株)
佐藤 潤四郎	花器・穴があいてちょっと考えた	1980-82(昭和 55-57) 頃	ガラス／宙吹・カット	
佐藤 潤四郎	花器（カレット入り）		ガラス／宙吹・カレット封入	
佐藤 潤四郎	皿（グリーン）		ガラス／宙吹き	
佐藤 潤四郎	玻璃花器	1980 年代	ガラス／宙吹	佐藤昌保氏寄贈
浜田 庄司	黒釉錆流描角皿		陶器	麻山富義氏寄贈
浜田 庄司	白釉鉄絵茶碗		ストーンウェア	
バーナード・リーチ	白磁魚絵皿	1961	磁器	
バーナード・リーチ	鉄絵碗		陶器	
クリストファー・ドレッサー	把手付き燭台		真鍮、木製把手	
クリストファー・ドレッサー	青緑釉水差	1879-82 頃	陶器	
クリストファー・ドレッサー	緑釉球形花生	1892-95 頃	陶器	
クリストファー・ドレッサー	金銀彩植物模様タイル		磁器	

ロビー展示 彫刻・他

	作者名	作品名	制作年	技法・材質	
●1 階	アントニー・ゴームリー	領域 XIII	2000	ステンレス・スチール棒	
	アントニー・ゴームリー	量子雲 XXIII	2000	ステンレス・スチール棒	
	笠置 季男	躍進	1958（昭和 33）	セメント	
●2 階展示ロビー	アリスティード・マイヨール	もの思い	1930	ブロンズ	大高善二郎氏寄贈
	植木 茂	体		木彫	
	木内 克	露柱	1976(昭和 51)	テラコッタ	
	柳原 義達	黒人の女	1956(昭和 31)	ブロンズ	
	佐藤静司	遙か	1989(平成元)	ブロンズ	宇野洋子氏寄贈
●前庭	バリー・フラナガン	野兎と鐘	1988	ブロンズ	